

データベース・セキュリティが 浸透する本当の理由

お問い合わせ先：アイピーロックスジャパン 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー15F TEL:03-3507-5805(代表)
http://www.iplocks.co.jp/ E-Mail:info-japan@iplocks.co.jp
テクマトリックス 東京都港区高輪4-10-8 京急第7ビル
アドバンスシステム営業第2部 金融システム営業課 TEL:03-5792-8607(直)
http://www.techmatrix.co.jp/products/security/iplocks/ E-Mail:iplocks@techmatrix.co.jp

金融機関を中心に、データベース・セキュリティが浸透してきた。企業の重要情報を格納するべき金庫とも言えるデータベースを守る、今まで手つかずだったデータベース監視ソリューションをアイピーロックスが牽引する。

「外部からの不正な侵入を阻止するソフトウェアはさまざまなタイプの製品がありました。データベース内での行動を監視するという発想はありませんでした」と指摘するのはアイピーロックスジャパンの大西基文執行役員社長。「シリコンバレーでアイピーロックスが創業する2002年までは世界中見渡しても皆無でした」。

大西副社長は続ける。「米国においても、情報漏洩対策は性善説に依拠した対策がほとんどでした。ネットワークの出入り口を何重にもチェックし、頑丈な鍵で施錠する一方、肝心の金庫を守っているのはIDとパスワードだけだったので。しかし、公的な機関が発表したデータを見ると、情報を持ち出す人間は内部関係者が圧倒的に多い。IDやパスワードを与えられている立場にあれば、あるいはその人に成りすませば金庫の中身を持ち出すことなど造作ないだろう」。

金庫を守る三つの機能

アイピーロックスは、データベース自身の脆弱性の評価、不審な動きやルールに反した行動の監視・通報、そして、すべての証拠を記録し分析する監査という三つの機能でデータベースを守る。「アクセス権限の管理やパッチの未



アイピーロックスジャパン
執行役員社長
大西基文

処理などを指摘する脆弱性の評価は、即効性を実感できる機能です。監視機能では、権限のあるユーザーの行動パターンを自動学習することなどで不審行動を検知しますし、アクセスすべてのログをとることで精度の高い監査機能を実現するアイピーロックスは、不正行為に対する抑止力にもつながるでしょう」と大西副社長。米国でデビューしたアイピーロックスの顧客は、高いセキュリティレベルを期待されている金融機関を中心に広がっていった。「日本でも、金融機関や情報インフラを担うIT関係での導入が先行しましたが、個人情報保護法の完全施行を契機として顧客層もあらゆる業種に拡大しています。例えば、食品・化粧品製造・販売大手のSONOKO様ではアイピーロックスの導入でプライベートマーク認定が迅速に行われたと伺っています」と語るのはテクマトリックス アドバンスシステム営業第2部の能瀬敏之次長だ。テクマトリックスは、世界の逸品を選び抜いて



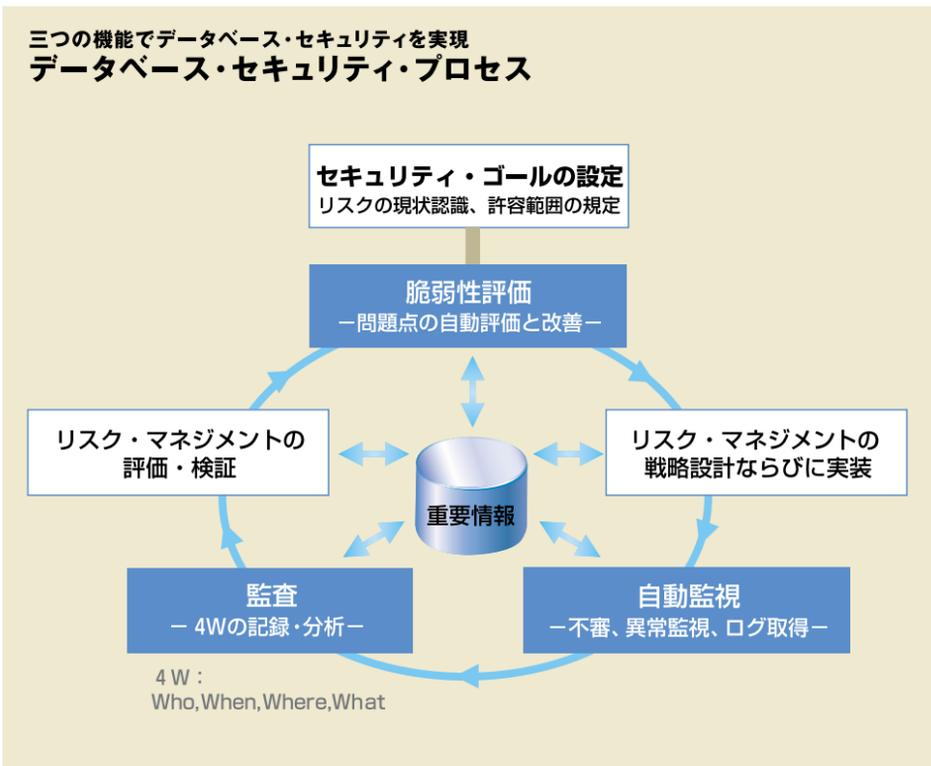
テクマトリックス
アドバンスシステム営業第2部次長
能瀬敏之

ソリューションを提供するITの目利きともいえる存在。「データベースを守るといふ発想そのものに独創性がありましたし、既存環境を変更せずに複数のデータベースを監視できる先進的なテクノロジにも可能性を感じました」と、能瀬次長はアイピーロックスのファーストインプレッションを振り返る。「何よりも、情報漏洩対策のためには、その源泉であるデータベースの利用を監視し、重要情報の漏洩拡散を防ぐ。これは重要でありながら対策の死角になりがちです。これを解決し得るのはアイピーロックスであると確信しました」。

アイピーロックスの バリューを上げる

事実、「お客様のニーズを具現化するプロセスがアイピーロックスの進化を促してきました」と大西副社長。まったく新しいユニークな発想に共鳴したシリコンバレーのエンジニアたちが、IT

の目利きを納得させるテクノロジを築き上げてきた。「金融機関に限りませんが、お客様のデータベースを見ると、複数のブランドを導入しているケースが一般的です。また日本のお客様の要求レベルは非常に高く、満足していただくためには基本機能はもちろん開発元も含めた柔軟な対応が必要で、且つスムーズな導入が重要と考えます」と能瀬次長。データベ
ース製品の知見を積み、技術的な最新情報に精通しているテクマトリックスのコンサルティングやチューニングもストレスの少ない導入には欠かせない機能だ。
「例えば、トップマネジメントへの報告など、レポートを重視するお客様に対して私どもが独自に開発したレポートینگ機能を提供していきます。こうしたお客様の業務を見据えた付加サービスによってアイピーロックスのバリューも確実に向上するはずです」と能瀬次長が語るとおり、アイピーロックスジャパンとテクマトリックスのパートナーシップがデータベース・セキュリティをスパイラルア



データベース・セキュリティという新しい発想は、本来守るべき情報とは何かという情報戦略の根源を再認識することにもつながるはずだ。情報資産をめぐるリスクマネジメントを構築するためにも、アイピーロックスがやるべき仕事は少ない。